

第4期宮城県食育推進プラン関連事業の実施状況及び計画

資料4-2

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 り	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 み え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
1	○				みやぎ21健康プラン推進事業	健康推進課	県民の健康寿命の延伸を図るため、「第2次みやぎ21健康プラン(以下、プラン。)(計画期間:H25~R4年度)の進行管理及び効果的かつ継続的な推進を図る。	1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催 2 みやぎ21健康プラン有識者ワーキングの開催 3 第2次みやぎ21健康プラン普及事業 4 県民健康・栄養調査の実施 5 循環器病対策推進計画の推進	9,633	1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催 2 みやぎ21健康プラン有識者ワーキングの開催 3 第2次みやぎ21健康プラン普及事業	1,689
2	○				メタボリックシンドローム対策戦略事業	健康推進課	本県の喫緊の健康課題であるメタボリックシンドローム対策として、各保健所において地域特性を踏まえた事業展開に特化した取組を推進する。また、保健指導従事者の質の向上を目的に特定健診・保健指導に係る研修会を開催する。	1 企画・評価会議の開催(各保健所) 2 地域課題を踏まえたメタボリックシンドローム予防啓発事業の実施(各保健所) 3 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催	1,282	1 企画・評価会議の開催(各保健所) 2 地域課題を踏まえたメタボリックシンドローム予防啓発事業の実施(各保健所) 3 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催	3,459
3	○				スマートみやぎプロジェクト	健康推進課	県民の健康づくりを推進するため、スマートみやぎ健民会議(県民運動)を基盤とし、市町村や民間企業等との協働により、全ライフステージへの切れ目のない支援体制を構築する。	1 スマートみやぎ県民会議 県民運動の周知・広報・参加団体拡大 2 みやぎヘルスサテライトステーションを活用した健康づくりの啓発普及 3 子どもの健康なからだづくり推進事業における市町村、幼稚園、保育所、学校と連携事業の実施 4 脱メタボ!みやぎ健康3.15.0宣言の周知及び総合的な普及啓発	13,391	1 スマートみやぎ県民会議 県民運動の周知・広報・参加団体拡大 2 みやぎヘルスサテライトステーションを活用した健康づくりの啓発普及 3 子どもの健康なからだづくり推進事業における市町村、幼稚園、保育所、学校と連携事業の実施 4 脱メタボ!みやぎ健康3.15.0宣言の周知及び総合的な普及啓発	17,645
4	○				食生活改善普及事業	健康推進課	市町村に組織化され地域に根ざした活動をしている食生活改善地区組織により生活習慣病予防を目的とした食生活改善の実践方法について県民に広く普及啓発を行う。	1 食生活改善普及事業の実施(委託) ・委託先:宮城県食生活改善推進員協議会 ・内 容:新型コロナのため訪問等を中心とした活動 減塩チェックシート等を活用した普及啓発 ・対 象:延1,949人 2 食生活改善地区組織の育成 ・定期総会の開催支援 ・理事会や二役会等の開催支援 ・市町村食生活改善推進員会長会議の開催支援	562	1 食生活改善普及事業の実施(委託) ・減塩や野菜摂取に関する普及啓発事業の実施 2 食生活改善地区組織の育成 (1)宮城県食生活改善推進員協議会活動支援 ・定期総会 ・理事会や二役会等 ・市町村食生活改善推進員会長会議等 (2)北海道・東北ブロック研修会の開催 ・10月2日間	1,053
5	○				歯科保健事業	健康推進課	「第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、県民一人ひとりがその健康状態やライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりができるよう支援体制の整備を行い歯科保健水準の向上を図る。	1 歯科保健推進協議会 2 歯科保健大会(歯つらつファミリーコンクール表彰) 3 フッ化物洗口普及事業 4 職域に対する歯科保健対策事業 5 妊娠期における歯科保健対策事業 6 口腔保健支援センター運営事業 7 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会 8 学童期・思春期の歯周疾患対策普及啓発事業 9 学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会 10 障害児親子歯みがき教室 11 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業 12 働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業 13 在宅歯科医療連携室整備事業 14 障害児・者歯科保健・医療体制整備推進事業 15 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業 16 食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業	23,987	1 歯科保健推進協議会 2 歯科保健大会(歯つらつファミリーコンクール表彰) 3 フッ化物洗口普及事業 4 職域に対する歯科保健対策事業 5 妊娠期における歯科保健対策事業 6 口腔保健支援センター運営事業 7 8020運動及び歯科口腔保健の推進に関する検討評価委員会 8 学童期・思春期の歯周疾患対策普及啓発事業 9 学童期・思春期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会 10 障害児親子歯みがき教室 11 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業 12 働き盛り世代の歯と口腔の健康づくり普及啓発事業 13 在宅歯科医療連携室整備事業 14 障害児・者歯科保健・医療体制整備推進事業 15 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業 16 食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業	29,454
6	○				はやねはやおきあさごはん推奨運動	義務教育課	「はやね・はやおき・あさごはん」といった基本的な生活習慣の定着を広く呼びかけ、子供の生活リズム向上を図る普及活動を行う。	1 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城(いい朝みやぎ)との連携 2 教育庁内・知事部局との連携	【非予算】	1 早寝早起き朝ごはん実行委員会in宮城(いい朝みやぎ)との連携 2 教育庁内・知事部局との連携	【非予算】

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 り	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
7	○				基本的な生活習慣定着促進事業	義務教育課	子供の規則正しい生活リズムの確立に向けた県民運動を推進するとともに、みやぎっ子ルルブル推進会議の設立趣旨に賛同する企業・団体と連携し、社会総がかりで未就学児や児童生徒の基本的な生活習慣の定着促進を図る。	1 ルルブルコンテストの開催・表彰 2 ルルブル体力向上支援事業の実施 3 各種広報媒体を活用した普及啓発事業 4 SNSを活用した普及啓発 5 ルルブル・エコチャレンジ事業 6 基本的な生活習慣の重要性を伝えるのリーフレット制作・配布 7 朝食摂取習慣化事業 8 みやぎっ子ルルブル推進会議の開催	5,841	1 ルルブルコンテストの開催・表彰 2 ルルブル体力向上支援事業の実施 3 各種広報媒体を活用した普及啓発事業 4 ルルブル・エコチャレンジ事業 5 基本的な生活習慣の重要性を伝えるのリーフレット制作・配布 6 朝食摂取習慣化事業 7 みやぎっ子ルルブル推進会議の開催 8 みやぎっ子ルルブルフォーラム2023の開催 9 ルルブル通信の発行	7,132
8	○				夜間定時制高等学校夜食実施事業	保健体育安全課	完全給食6校、補食給食1校で実施する。	完全給食6校(うち1校はデリバリー給食)、補食給食1校で実施。	4,788	完全給食6校(うち1校はデリバリー給食)、補食給食1校で実施する。	6,200
9	○				中学校給食実施事業	保健体育安全課	完全給食1校、ミルク給食1校を実施する。	完全給食1校、ミルク給食1校を実施。	1,086	完全給食1校、ミルク給食1校を実施する。	1,797
10	○				特別支援学校給食実施事業	保健体育安全課	18校で完全給食を実施する。	完全給食18校(うち1校はデリバリー給食)を実施。	14,477	完全給食18校(うち1校はデリバリー給食)を実施する。	16,700
11	○	○		○	子どもの健康を育む総合食育推進事業	保健体育安全課	1 学校給食研究協議会の開催 2 食に関する指導推進研修会の開催 3 「伊達な学校給食フェア」の開催 4 食育啓発ポスターの募集 5 食育推進啓発カレンダー作成 6 学校給食で提供する郷土料理のデータベース作成	1 学校給食研究協議会(Web開催)の開催(参加人数:123人) 2 食に関する指導推進研修会の開催(参加人数:オンライン35人、オンデマンド116人) 3 「伊達な学校給食フェア」の開催(R5.1.23~1.27実施:1日80食提供) 4 食育推進啓発ポスターの募集(応募総数 小学校:39点、中学校48点) 5 食育推進啓発カレンダー作成	36	1 学校給食研究協議会の開催 2 食に関する指導推進研修会の開催 3 「伊達な学校給食フェア」の開催 4 食育推進啓発ポスターの募集 5 食育推進啓発カレンダー作成	125
12	○				みやぎらしい家庭教育支援基盤形成事業	生涯学習課	1 みやぎらしい家庭教育支援事業(うち食育に関連する事業) 各家庭が望ましい食生活を持続的に行い、健康な子どもが育まれるように、食育の啓発に努める。このために、家庭教育支援を行うボランティア(子育てサポーター、子育てサポーターリーダー)を養成する講座等において、これを果す研修内容を取り入れるとともに、WEBページ上で情報を発信する。 (1)子育てサポーター養成講座(県内各圏域15回) (2)子育てサポーターリーダー養成講座 (3)子育てサポーターリーダーネットワーク研修会 (4)WEBページでの「はやね はやおき あさごはん」の推奨に関する情報提供	1 みやぎらしい家庭教育支援事業(うち食育に関連する事業) 子育てサポーター養成講座や子育てサポーターリーダー養成講座等で基本的な生活習慣の大切さを研修内容に盛り込むとともに、「はやね はやおき あさごはん」体操も取り入れ、地域での活動に役立てる。WEBページ上でも随時情報発信をする。 (1)子育てサポーター養成講座(県内5圏域毎3回、計15回) (2)子育てサポーターリーダー養成講座(4回) (3)子育てサポーターリーダーネットワーク研修会(1回) (4)WEBページでの「はやね はやおき あさごはん」に関する情報提供を行う。	3,051	1 みやぎらしい家庭教育支援事業(うち食育に関連する事業) 子育てサポーター養成講座や子育てサポーターリーダー養成講座等で基本的な生活習慣の大切さを研修内容に盛り込むとともに、「はやね はやおき あさごはん」体操も取り入れ、地域での活動に役立てる。WEBページ上でも随時情報発信をする。 (1)子育てサポーター養成講座(県内5圏域毎3回、計15回) (2)子育てサポーターリーダー養成講座(4回) (3)子育てサポーターリーダーネットワーク研修会(1回) (4)WEBページでの「はやね はやおき あさごはん」に関する情報提供を行う。	4,915
13	○				みやぎフレイル対策市町村サポート事業	長寿社会政策課	市町村が高齢者の健康寿命延伸に向け、効果的なフレイル対策を効率的にできるよう、関係団体との連携・協働により技術的な支援を行う。併せて、本県の課題解決に向け、フレイル対策の要となる低栄養の問題に対し、通いの場等で地域支援ができる栄養士の人材確保と育成を推進する。	1 みやぎ健康支援アドバイザー養成研修カリキュラム及びフレイル対策に関する専門職の人材育成研修カリキュラムの更新等 ・検討会3回 研修カリキュラムの見直し等 2 みやぎ健康支援アドバイザーネットワーク連絡会 ・全体会2回、研修会2回 みやぎ健康支援アドバイザーの知識・技術の向上を図った。 3 みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援 ・支援自治体2市、派遣回数7回 地域ケア個別会議への助言、研修会、勉強会の講師等 4 フレイル対策に関する専門職の人材育成研修会 ・栄養士向け研修1、市町村職員向け研修2回、意見交換会1回 5 高齢者の健康状態・生活状況等の効果的な把握方法及び体制の検討	1 みやぎ健康支援アドバイザー養成研修カリキュラム及びフレイル対策に関する専門職の人材育成研修カリキュラムの更新等(みやぎオリジナルの人材育成を継続検討。) 2 みやぎ健康支援アドバイザーネットワーク連絡会(みやぎ健康支援アドバイザーのスキルアップとチーム力の向上を図る。) 3 みやぎ健康支援アドバイザーチーム派遣による市町村支援(市町村からの依頼に応じ、各地域の実情に応じた後方支援を行い、市町村が高齢者の疾病予防・重度化予防と生活機能の改善を図る。) 4 フレイル対策に関する専門職の人材育成研修会(市町村が行う 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施で活躍できる医療専門職等の人材を育成する。) 5 高齢者の健康状態・生活状況等の効果的な把握方法及び体制の検討(健康寿命の延伸に向けた効果的な事業を検討。)	11,946	8,000

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 くり	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
14	○				フレイル予防に関する一般県民への普及啓発	長寿社会政策課	テレビや新聞等の媒体を活用し、フレイル対策、介護予防、認知症支援等に関する正しい理解について広く普及啓発を図る。	1 新型コロナウイルス感染症防止対策の影響で外出頻度が減少している高齢者がフレイルになることを予防するための普及啓発(産学官民との連携によりフレイル予防の推進強化を図る。) ・テレビによる情報発信 情報番組1回、特別番組1回、ミニ番組25回、CM15秒60回 ・DVD動画の作成 ・ポスターの作成 ・啓発番組のWEB公開	8,965	1 新型コロナウイルス感染症防止対策の影響で外出頻度が減少している高齢者がフレイルになることを予防するための普及啓発(産学官民との連携によりフレイル予防の推進強化を図る。)	3,520
15	○		○		特定給食指導事業	健康推進課	健康増進法に基づき特定給食施設等への行政指導等の実施 1 特定給食施設等への行政指導 2 給食施設従事者等研修会(非常・災害時対策チェックリストの整備及び同リストに基づく指導を含む)	1 特定給食施設等の指導、支援 ・個別指導 延28施設 ・集団指導 2回、延225人 2 給食施設従事者等研修会 ・開催回数 11回 ・参加者数 延620人 3 保健所栄養業務担当者打合せ(2回) ・指導マニュアルに基づく指導目標及び評価等の設定検討。	165	1 特定給食施設等の指導、支援 ・共通の指導目標(減塩・適正体重)を設定するとともに、施設の栄養管理状況の把握及び評価を行う。 ・評価結果を踏まえ適切な栄養管理に係る施設指導を効果的に実施する。 2 給食施設従事者等研修会 ・地域特性に応じた研修会等の実施 3 特定給食施設等届出及び指定事務 4 保健所栄養業務担当者打合せ等の開催	422
16	○				ベジプラス100&塩eco推進事業	健康推進課	主に働き盛り世代をターゲットに野菜摂取量の増加や減塩を進めるため、「野菜!あと100g」とあわせて「減塩!あと3g」を推進し、県民の健康づくりを進める。	1 中食・外食でベジプラス イ みやぎベジプラスメニューの開発・販売 ① 商品化発表会 R5.2.27 ② 販売期間 R5.2.28~2週間、1か月 ※協力:管理栄養士養成施設(4校) 企業(6社:358店舗) ③ 販売累計 延44,864食 ロ ベジプラスランチフェア等の実施 ① 企業と県庁食堂等とのマッチング ② ランチフェア及び情報提供 ③ 実施期間 R4.7~R5.3 ※協力:企業2社(延5回)+食堂2社 2 普及啓発 イ スーパー等でのロゴマーク等普及用資材の活用 ロ テレビ・ラジオ番組等とのタイアップ ハ 企業等が発行する媒体等による情報発信	—	1 みやぎベジプラスメニューの販売拠点の整備 イ みやぎベジプラスメニューの開発(スマートミール基準) ①メニュー(案)の募集 ②企業説明会及び意見交換会 ③販売メニューの開発 ロ みやぎベジプラスメニュー発表会 ハ みやぎベジプラスメニュー購入者向けキャンペーン ①各企業による広報 ②メディア等による広報 2 民間企業と連携した普及啓発 イ 企業提案による普及啓発 ①ベジプラスランチフェアの実施 ②食品関連企業とスーパー等のコラボによる普及 ロ ベジプラス&塩ecoコーナーの設置等 ハ ベジプラス動画の制作・配信等 ニ メディア等とタイアップした普及啓発 3 ベジプラス100&塩ecoで地域の食環境整備大作戦(保健所) 地域特性に応じ、働く世代を対象にベジプラスメニューの提供や普及啓発を多様な施設等で実施 イ ベジプラスメニュー提供 ロ ベジプラス&塩eco情報発信	—

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 り	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
17	○	○	○	○	みやぎの食育戦略推進事業	健康推進課	1 普及・啓発活動の実施 2 食育を推進する人材の育成・支援 3 地域の食育推進事業	1 みやぎの食育推進事業 (1)食育普及啓発事業 イ 食育普及啓発チャレンジ事業(義務教育課共同) ・「食育ハンドブック2022」に食育コンテンツ掲載、 県内小学5年生全部に配布。 ロ みやぎ食育表彰(大賞1、奨励賞2) ハ みやぎ食育普及月間(11月)の推進 ・メディアや県HP等を活用し各地域の取組を情報発信 ニ みやぎ食育通信の発行(3回) ・配布先: 食育応援団、幼稚園、保育園、学校、 市町村、関係機関 ホ メディア等を活用した情報発信 ・FM仙台「MorningBrush」食育コーナー(12回) (2)地域の食育推進事業(保健福祉事務所) ・関係公所と連携し、地域の特色を生かした取組の実施 (3)宮城県食育推進会議の開催(1回) ・会議: R4.9.7、庁内関係課室班長会議: R4.8.24 2 みやぎの食育連携事業 (1)みやぎ食育応援団登録と活用促進 ・マッチング・派遣11件 (2)みやぎ食育コーディネーター研修会の開催(1回) ・R4.8.26開催 ※食育A(9)、食育C(115)、応援団(企業等38団体) (3)関係機関との連携による取組の実施 ・子育て応援団すこやか2022(子育て社会推進課)	2,207	1 みやぎの食育推進事業 (1)食育普及啓発事業 イ 食育普及啓発チャレンジ事業(義務教育課と共同実施) ・「食育ハンドブック2023」に食育コンテンツ掲載、 県内小学5年生全部に配布。 ロ みやぎ食育表彰 ハ みやぎ食育普及月間(11月)の推進 ニ みやぎ食育通信の発行(2回) ホ メディア等を活用した情報発信 ・FM仙台「MorningBrush」食育コーナー(12回) (2)地域の食育推進事業(保健福祉事務所) 関係公所と連携し、地域の特色を生かした取組の実施 (3)宮城県食育推進会議の開催(1回) 2 みやぎの食育連携事業 (1)みやぎ食育応援団登録及び派遣 (2)みやぎ食育コーディネーター研修会の開催(3回) (3)関係機関との連携による取組の実施	2,941
18		○			宮城米広報宣伝事業	みやぎ米推進課	宮城米マーケティング推進機構が実施する宮城米の広報宣伝活動事業に加え、東京・大阪等大消費地へ直接、宮城県産米を売り込むための販売支援活動を実施し、宮城米の評価高揚及び消費拡大を推進する。	宮城米マーケティング推進機構による各種広報宣伝活動 ・宮城米県外ファン拡大事業 ・宮城米「地産地消」推進事業 県内開催イベントへの協賛や協力 ・宮城米産地情報発信事業 SNSやパブリシティによる情報発信 ・宮城米提供事業者PR・支援事業 宮城米を提供する飲食店等の利用促進、NPO法人TABLE FOR TWO International「おにぎりアクション」への協賛 ・食材王国みやぎ大使活用・支援事業 ・宮城米キャンペーンキャラクター募集・活用事業	9,353	宮城米マーケティング推進機構による各種広報宣伝活動 ・宮城米県外ファン拡大事業 ・宮城米「地産地消」推進事業 ・宮城米産地情報発信事業 ・宮城米提供事業者PR・支援事業 ・食材王国みやぎ大使活用・支援事業 ・宮城米キャンペーンキャラクター募集・活用事業	8,904
19		○			地域食材発掘・販路拡大事業	食産業振興課	「食材王国みやぎ」の展開の一つである「地産地消」をより実践推進するため、県庁1階玄関ホールを活用し、地域の特色ある食材を発掘するとともに都市部での販路拡大の可能性を探るため市町村や地方振興事務所(地域事務所)を主体とした展示・販売会を定期的実施する。	県庁1階市町村等地場産品展示・即売実績 39週(43回)、日数167日、団体37団体	—	県庁1階市町村等地場産品展示・即売実施予定 41週(42回)、日数139日、団体37団体	—

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 り	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
20		○			食育・地産地消推進事業	食産業振興課	<p>1 地産地消の取組推進 (1)地産地消普及啓発 (2)地産地消推進店登録推進 ・地産地消推進店の募集・利用拡大 (3)地産地消推進活動支援 地域での地産地消を促進するため、市町村が構成員となっている協議会等が行う地産地消活動に対し、交付金による支援を行う。</p> <p>2 みやぎの「食」と「食材」の理解度向上 (1)食材王国みやぎ「伝え人(びと)」登録・活用促進 県内の「食のプロフェッショナル」を「伝え人(びと)」として登録し、小・中学校、児童館、公民館に派遣する。 (2)高校生地産地消お弁当コンテストの開催 高校生を対象に、県産食材の活用方法を競うコンテストを開催し、県産食材を学ぶ機会を提供する。 (3)食料産業・6次産業化交付金(国庫事業) 市町村が実施する食育事業に対し、交付金による支援を行う。</p> <p>3 食材王国みやぎパートナーシップ会議 (1)食材王国みやぎパートナーシップ会議 (2)食材王国みやぎ推進優良活動表彰 本県食産業に貢献する事業者を「地産地消部門」「ブランド化部門」で表彰する。</p>	<p>1 地産地消の取組推進 R4年度末の地産地消推進店登録数 524店舗(前年度末より95店舗増)。そのほか、飲食店・量販店向けPR資材(ステッカー)の作成を行った。</p> <p>2 みやぎの「食」と「食材」の理解度向上 (1)「食材王国みやぎ伝え人」を小・中学校等へ32回派遣 (2)高校生地産地消お弁当コンテストには、20校183名からの応募があり、4作品を入賞作品として選定。そのうち3作品を協賛企業・団体による「コラボレーション弁当」として販売した。 (3)食料産業・6次産業化交付金(国庫事業) 希望町に対し「消費・安全対策交付金」を交付し、市町村が実施する食育事業の支援を行った。</p> <p>3 食材王国みやぎパートナーシップ会議 「食材王国みやぎ推進優良活動表彰」として、地産地消部門2事例、ブランド化部門2事例の表彰を行った。</p>	6,098	<p>1 地産地消の取組推進 地産地消推進店と連携した県産食材のPR 2 みやぎの「食」と「食材」の理解度向上 (1)「食材王国みやぎ伝え人」の小・中学校等への派遣 (2)高校生地産地消お弁当コンテストの開催 3 食材王国みやぎパートナーシップ会議 食材王国みやぎ推進優良活動表彰の実施</p>	6,357
21		○			地域イメージ確立推進事業	食産業振興課	「食材王国みやぎ」情報発信事業 食関連情報サイト「食材王国みやぎ」、「食材王国ぶれ宮 夢みやぎ」を効率的・効果的に運営するとともに、情報の収集に努め、常に新しい情報を発信する。	食材王国みやぎ公式SNS(Facebook及びInstagram)を積極的に活用し、Facebookフォロワー 約2,500人(前年度末より約400人増)、Instagramフォロワー 約3,000人(前年度末より約1,000人増)を達成した。	1,695	食材王国みやぎ公式SNS(Facebook及びInstagram)の効果的な運営を引き続き行っていく。	1,902
22		○			県産ブランド品確立支援事業	食産業振興課	<p>1 認証食品(3E食品)制度の普及等 (1)認証基準検討・認証 (2)認証食品の普及啓発 県庁1階宮城広報室での展示PR、県庁18階県政広報展示室での展示PR、東北イオン合同見本市への出展PR、みやぎまるごとフェスティバルでの展示PRを実施する。</p> <p>2 「食材王国みやぎ」フェアの開催 首都圏等の有名ホテル、レストラン等において、県産食材を使用した「食材王国みやぎ」フェアの開催を促す。</p> <p>3 みやぎ食材出合いの旅 県産食材の使用を検討している首都圏ホテル等の調理人、バイヤー等を本県の生産現場に招へいし、生産者等と直接対話することで、県産食材の理解をより一層深めてもらい、フェア開催並びに販路拡大の一助とする。</p>	<p>2 「食材王国みやぎフェア」開催支援 ・首都圏の有名ホテルにおいて、本県産食材を使用した「食材王国みやぎフェア」を開催いただき、ホテルの持つ「高級イメージ」や有名シェフの「高い料理技術」といった価値を付加し、県産食材の特長を最大限に引き出し、豊富で優れた県産食材の魅力を広く発信した。 (R4開催実績(延べ152日)) ①9/1～11/30(91日間)横浜ベイホテル東急(神奈川県横浜市) ②11/1～12/31(61日間)パレスホテル大宮(埼玉県さいたま市)</p> <p>3 みやぎ食材出合いの旅:首都圏の有名ホテル、レストラン等の料理人・バイヤー等の生産現場への招へい。 ・出合いの旅の実施により、参加者に県産食材への理解を深めていただき、「食材王国みやぎフェア」の開催や継続取引へとつなげた。 (R4開催実績) ①6/20～6/21 横浜ベイホテル東急(神奈川県横浜市) ②9/3・9/17 イオン東北(株)(宮城県仙台市) ③9/26～9/27 パレスホテル大宮(埼玉県さいたま市)</p>	4,952	<p>2 「食材王国みやぎフェア」開催支援 (R5開催予定) ①6月～7月 株式会社カルネヴァーレ(東京都目黒区) ②9月～10月 学士会館精養軒(東京都千代田区) 3 みやぎ食材出合いの旅:首都圏の有名ホテル、レストラン等の料理人・バイヤー等の生産現場への招へい。 (R5開催予定) ①5/25 株式会社カルネヴァーレ(東京都目黒区) ②6/22～6/23 学士会館精養軒(東京都千代田区) 他数件</p>	5,306
23		○			地域での食育の推進事業	食産業振興課	こども食堂をはじめとする食育活動の場の拡充・強化を図るとともに、地元食材や栄養バランスに関する知識を学ぶ機会を創出するため、希望市町村及び団体へ交付金による支援を行う。(国庫事業)			地域での食育の取組(こども食堂等)や学校における食育の取組に対し、交付金を交付する。	5,000
24		○			学校給食における県産食材利用推進事業	農業政策室	県産食材利用の啓発 「すくすくみやぎっ子通信」の発行による学校給食での地場産農産物の利用促進	「すくすくみやぎっ子通信」の発行(4回)	【非予算】	「すくすくみやぎっ子通信」の発行(4回)	【非予算】

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 り	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 み え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
25		○			みやぎの田園環境教育支援事業	農村振興課	農業・農村の持つ魅力などを再認識してもらうとともに、農村環境保全に係る意識の醸成を図るため地域や学校教育と連携し、田んぼの生き物調査、小学校総合学習等への支援を行う。	1 学校教育と連携した広報活動 5回 (田んぼダム出前講座・農業農村整備学習会) 2 関係団体が主体となって実施する活動の支援 9回 (用水学習会・生き物調査等) 3 農業・農村の有する多面的機能の理解促進活動 16回 (田んぼの学校:田植え体験・稲刈り体験等) 4 農業・農村の魅力を伝える情報発信 5回 (ウォークイベント、フォトコンテスト等)	【非予算】	引き続き、農業・農村の持つ魅力などの再認識と農村環境保全に係る意識醸成に資する活動について支援する。	【非予算】
26		○			むらまち交流拡大推進事業	農山漁村な りわい課	市町村や農泊推進団体等が実施する都市農村交流活動への助言指導と関係団体への人材派遣による現地指導等、農泊や農林漁家民宿等の情報発信を支援する。	1 みやぎの農泊サイトの認知度向上 2 農泊地域のPR動画作成 3 アドバイザー派遣 4 農泊講演会、研修会の開催	4,703	1 研修会及び交流会の開催 2 農泊地域のPR動画作成 3 SNSを活用した情報発信 4 アドバイザー派遣	4,311
27		○			「みやぎ水産の日」を核としたPR活動	水産業振興課	魚食普及、県産水産物の県内需要拡大を図るため、「みやぎ水産の日」を軸に、料理教室や各種PR活動等を行う。	1 「海の幸料理教室」の実施 2 魚食に関する出前講座の実施 3 「みやぎ水産の日まつり」の開催 4 普及啓発活動(HP、Instagram等による情報提供、県庁食堂の協力による「みやぎ水産の日」のランチ提供、県政広報展示室におけるパネル展示等)	1,292	1 「海の幸料理教室」の実施 2 魚食に関する出前講座の実施 3 「みやぎ水産の日まつり」の開催 4 ラッピングバスの運行によるPR 5 普及啓発活動(HP、Instagram等による情報提供、県庁食堂の協力による「みやぎ水産の日」のランチ提供、県政広報展示室におけるパネル展示等)	11,014
28-1		○			地域未来創出事業「みやぎ蔵王ブランド推進事業」(大河原地方振興事務所)	富県宮城推 進室	広域連携による仙南地域への誘客促進・食のブランド化 ①仙南の「食」ブランド化事業 ②「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の普及促進事業	1 食のブランド化事業 (1)「仙南・置賜連携事業」(地域未来創出事業[先導型])等と連動したPR展開(10/1～11/30) ・「仙南の麺を堪能！白石温麺『おくずかけ』×そば」キャンペーン(上記周遊企画と同時開催) 仙南地域の郷土料理「おくずかけ」「そば」提供店で先着50名に「仙 台 弁 け し ギ ヅ ツ」をプレゼント(おくずかけ7店 そば5店) (2)道の駅等と連携したマルシェ、スイーツイベントの開催 ・管内の道の駅等と連携したスイーツイベントを3回開催(4・5・11月) ・【3県連携】「道の駅ふくしま」つながるフェスタ開催(11/5～11/6)来場者数 5,773人 ・「みやぎ仙南×山形おきたま つながる！フェア」開催(10/21～10/22) 来場者数 800人 (3)「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業 ・三つ折リーフレットを新たに作成、各キャンペーンの景品等でPR(新規品目推奨6社6品目 ※推奨品目数80品目)	450	1 食のブランド化事業 (1)仙南の「食」ブランド化事業 ・山形置賜地域・福島県北地域との3県連携周遊事業と連動させた食のPR ・上記事業と同時期に開催する、地域に愛される特色ある「麺」をテーマとしたキャンペーンの実施 ・【3県連携】「道の駅ふくしま」つながるフェスタの開催(11/3～11/4) ・管内道の駅等と連携したスイーツマルシェ開催(村田:5/26～5/28、白石:6/10～6/11、角田:未定) (2)「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」の普及促進事業 ・道の駅等と連携した「地域の逸品」マルシェを新たに開催 ・詰め合わせセットの造成・販売 ・道の駅や直売所等への「地域の逸品コーナー」の展開 ・SNSを活用したPR	1,560
28-2		○			地域支援事業「広域周遊促進・観光人材育成事業」(大河原地方振興事務所)	富県宮城推 進室	3県(宮城・山形・福島)連携広域周遊促進事業 令和5年9月から12月中旬までの3か月半程度、宮城県仙南地域、山形県置賜地域及び福島県県北地域の特産であるフルーツを使用した「ご当地スイーツ」が食べられる(買える)各地域のスポットを巡る周遊企画を実施	—	—	・3県(宮城・山形・福島)連携広域周遊促進事業 各地域の特産であるフルーツを使用したスイーツを切り口とした周遊企画を実施	1,000
28-3		○			地域未来創出事業「食産業販路開拓・拡大事業」(仙台地方振興事務所)	富県宮城推 進室	料理人、消費者へ仙台地域の食材を様々な方法でPRし、地産地消推進、食材の理解を深める。 1 おすすめ食材PR・販売(原木しいたけ・管内水産物) 2 みやぎ食の架け橋事業	1 仙台地域おすすめ食材PR事業 ・農林水産物のPR及び販売イベントの開催 ・広告媒体を活用した食材・加工品のPR ・広報課FBを活用した食材・加工品の情報発信 2 みやぎ食の架け橋事業 ・教育機関等を対象にメニュー開発や生産現場研修などを通じた食材PR	675	1 仙台地域おすすめ食材PR事業 ・林産物、水産物のPR及び販売イベントの開催 ・広告媒体を活用した食材・加工品のPR ・広報課FBを活用した食材・加工品の情報発信 2 みやぎ食の架け橋事業 ・教育機関等を対象にメニュー開発や生産現場研修などを通じた食材PR ・料理人と生産者の生産作業実習を通じた交流により「みやぎ食材伝道士」を認定し、食材の地産地消を推進	866

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 くり	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 み え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
28-4		○			地域未来創出事業 R4事業名「交流人口増加に向けた市町等との連携事業」 R5事業名「交流人口増加に向けた地域の魅力発信事業」 (北部地方振興事務所)	富県宮城推進室	市町等が開催する食関連イベント等の開催を支援し、地産地消の推進を図る。また、地域食材の魅力を発信し、消費拡大につなげていく。 ・「おおさき食楽まつり」、「おおさきフードチャレンジ！料理コンテスト」等の食関連イベント開催支援 ・地域食材情報の発信	・コロナウイルスの影響で「おおさき食楽まつり」は中止となり、「おおさき料理対決」についても、「おおさきフードチャレンジ！料理コンテスト」として令和5年度に開催されることとなったため、関連支援や魅力発信の実施を見送った。 ・地域食材のPRとして、Instagram「よきたみやぎ」で管内の農産物直売所について5回投稿。	0	・地域団体が開催する「おおさき食楽まつり」及び「おおさきフードチャレンジ！料理対決」の開催を支援することにより地産地消を推進するとともに、地域食材の魅力を発信する。 ・大崎地域の農産物直売所等取材し、Instagram(「よきたみやぎ」アカウント)で情報発信する(月1回程度)。	140
28-5		○			地域未来創出事業 「キャンパー誘客・地元農産物消費促進事業」 (北部地方振興事務所)	富県宮城推進室	大崎地域のキャンプ場を利用するキャンパーに対し、地元食材を購入してもらえるようキャンプ場及び農産物直売所の位置情報も発信し、農産物直売所とキャンプ場の利用を連動させるキャンペーンを実施することで交流人口の増加と大崎地域内の農産物直売所の農産物購入人口の増加を図る。	・対象の大崎地域のキャンプ場を利用し、かつ対象の大崎地域の農産物直売所を利用して応募した方に商品が当たるキャンペーンを実施した。 ・大崎地域の魅力あふれる写真を投稿した方に商品が当たるキャンペーンを同時に実施した。	1,581		—
28-6		○			地域未来創出事業 R4事業名「食産業関連業者の販売力・情報発信力等支援事業」 R5事業名「栗原ファン拡大観光推進事業」 ・地域支援事業 R5事業名「6次産業化の推進及び特産の認知度向上支援」 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	富県宮城推進室	「くりはらマルシェ」の開催や各種イベントとの連携により、栗原地域内外で地域産品をPRする。 また、地産地消の推進や6次産業化への支援を行い、地域産品の活用を促す。	1 「くりはらマルシェ」を中心とした地域産品の認知度向上及び販路拡大支援 ・県庁1階ロビー販売会：4者出店 ・苔ふれあいフェア(細倉マインパーク)：6事業者、販売額242,435円(1日間) ・りんごまつり(栗原合庁)：9者出店 ・岩手・宮城県際マルシェ(秋保ビレッジ)：くりはらマルシェのぼり掲揚等によるPR ・出店者等対象の効果的な販売方法を学ぶセミナーの開催 2 地域産品を活用した商品の創出支援 6次産業化に興味のある事業者等を対象に「6次産業化セミナー」を開催(栗原市共催)。 3 関係機関と連携した地産地消(食育)の推進 栗原市の食育パネル展でのズッキーニのPR、「くりはら食育通信」8月号への取り組みの掲載によるPR。 4 SNSを活用した地域資源の情報発信 当所HP、当所ブログ、TwitterやInstagramを活用し、栗原食材の情報発信を行った。	283	1 「くりはらマルシェ」を開催する他、各種イベント等において地域産品の認知度向上及び販路拡大支援を行う。 ・県庁1階ロビー ・サンクチュアリセンター ・栗駒山麓ジオパークビジターセンター 等 2 6次産業化推進セミナーを開催し、機運の醸成を図る。 3 栗原市の食育パネル展でのズッキーニのPR、「くりはら食育通信」により、産品PR、地産地消を推進する。 4 ブログ等SNSを活用し、くりはら産食材のPRを強化する。 5 東京アンテナショップにおける販売活動支援を行う。	565
28-7		○			地域未来創出事業 「観光と食の魅力発信支援」 (東部地方振興事務所)	富県宮城推進室	大型量販店や商工団体、観光関係団体、事業者等と連携し、地域の観光や食の魅力について情報発信を行うとともに、被災した事業者等の販路拡大を支援する。	1 「石巻地域の物産と観光展」の開催 道の駅国見あつかしの郷(福島県)において、10日間にわたり物産展を開催し、地元企業の出店により特産品及び飲食物等の販売を行い、石巻地域の食の魅力を発信した。 2 「石巻復興フード見本市」における観光PR 地域の事業者団体や商工会議所、行政等が連携して開催する「石巻復興フード見本市」(展示商談会)において、石巻地域の観光と食のPRを実施した。 3 大型イベントとの連携による観光PR 「ツール・ド・東北」や「Reborn-Art Festival」等の大型イベントと連携し、観光と食のPRを実施した。更に、「宮城オルレ奥松島コース」関連イベントに合わせた観光PRも併せて実施した。 4 情報の集約・発信 圏域の観光や食に関する環境が刻々と変化していることから、観光物産施設の整備状況等、交流人口拡大に資する情報を集約し、ホームページ等で情報発信を行うとともに、当所SNSを活用したフォトコンテストを実施し、魅力を発信した。	569	1 「石巻地域の物産と観光展」の開催 道の駅国見あつかしの郷(福島県)において、地元企業の出店により特産品及び飲食物等の販売を行い、石巻地域の食の魅力を発信する。 2 「石巻復興フード見本市」における観光PR 地域の事業者団体や商工会議所、行政等が連携して開催する「石巻復興フード見本市」(展示商談会)において、石巻地域の観光と食のPRを実施する。 3 大型イベントとの連携による観光PR 「ツール・ド・東北」や「サン・ファン祭り」、「大型客船寄港」等の大型イベントと連携し、観光と食のPRを実施する。 4 情報の集約・発信 圏域の観光や食に関する環境が刻々と変化していることから、観光物産施設の整備状況等、交流人口拡大に資する情報を集約し、ホームページ等で情報発信するとともに、当所SNSを活用したフォトキャンペーンを実施し、魅力発信の強化を図る。	814

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 り	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
28-8		○			地域未来創出事業 R4事業名「次代につ なぐ登米観光戦略実 践事業」 R5事業名「登米圏交 流人口拡大推進事 業」 (東部地方振興事務 所登米地域事務所)	富県宮城推 進室	文化・歴史関連施設及び観光施設への誘客対策を実施す るとともに、登米市産食材のPRを行う	・地元飲食店と協働し、魅力ある登米市産食材を使った料理を 提供する「2023 登米の冬おなかもほっこりフェア」を 開催。	320	・公式SNS「ほっとめーしょん」を活用し、登米市産食材のPR活 動を行う。	30
28-9		○			人口減少・少子化等 地域対策強化事業 「地元定着意識醸成 事業」(東部地方振興 事務所登米地域事務 所)	地域振興課	登米市内の小学生に対し地域産業について関心を持っても らうことを目的として、親子でウイナーを作りながら登米市 の畜産業を学ぶことのできる見学・体験会を実施する。	・有限会社伊豆沼農産の協力を得て、畜産をテーマとした見 学・体験会を実施。	82	—	
28-10		○			地域支援事業「登米 産食材を通じた地域 産業協働事業(地域 産業振興型)」	地域振興課				・登米産食材を活用した飲食店、道の駅などの産直販売者、 生産者等が相互に連携するネ ットワークを構築するととも に、マルシェ等のイベントを持続的に開催する仕組みを構築 し、登米産食材の更なるPRと消費拡大を図る。	543
28-11		○			地場産品の販路拡 大、地産地消推進 (大河原地方振興事 務所)	富県宮城推 進室	1 県内外への販路拡大に向けた支援 2 地産地消・食育に関する情報発信	1 県内外への販路拡大に向けた支援 ・農林業者や食品加工製造業者に対する商談会や販売会等 の各種支援事業の情報提供 2 地産地消・食育に関する情報発信 ・大河原地方振興事務所Twitter等SNSによる地域食材、加 工品の魅力発信	【非予算】	1 県内外への販路拡大に向けた支援 ・農林業者や食品加工製造業者に対する商談会や販売会等 の各種支援事業の情報提供 2 地産地消・食育に関する情報発信 ・大河原地方振興事務所Twitter等SNSによる地域食材、加 工品の魅力発信	【非予算】
28-12		○			地場産品生産者に対 する支援 (地場産品臨時直売 所の合庁内設置等) (気仙沼地方振興事 務所)	富県宮城推 進室	1 毎月第1金曜日に、気仙沼合同庁舎の1階に管内の農林 産物や農林水産加工品の臨時直売所を設置。 2 「みやぎ水産の日」(毎月第3水曜日)の週の金曜日に臨 時直売所を設置し、地域の水産物のPR活動を行う。	・毎月第1金曜日または「みやぎ水産の日」(毎月第3水曜日) の週の金曜日に、臨時直売所を実施し、地域の農林水産物 のPRを行った。 令和4年度は、計5回直売会を開催し、事業者数は計16、 売上額は計576千円(切り下げ、水産の日を除く)であった。	【非予算】	・毎月第1金曜日または「みやぎ水産の日」(毎月第3水曜 日)の週の金曜日に、臨時直売所を実施し、地域の農林水 産物のPRを実施する。	【非予算】
29		○			食品ロス削減啓発の 取組	循環型社会 推進課	食品ロスの削減を推進するため、各種イベント等における料 理の食べきりの呼び掛けなど県民への啓発活動を実施す る。	県内小売店・食べきりモデル認定店舗への食品ロス削減啓発 資材の配布とフードドライブを行った。また、県民向けのパンフ レットの作成、TVCMの制作・放送を行った。	5,653	県内小売店・食べきりモデル認定店舗への食品ロス削減啓発 資材の配布を行う。TVCM放送及びパンフレット配布により一 般向けの啓発を行う。また、新たにスマートフォン用アプリによ る余剰食品と消費者のマッチングを行い、食品ロス削減の機 運を醸成する。	7,585

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 くり	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 み え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
30			○	○	地域栄養管理対策事業	健康推進課	表示の適正化指導や普及啓発等を行うとともに、食を通じた社会環境の整備による県民の健康増進を図る。 1 食品表示の適正化に関する指導等 2 啓発普及、相談、監視指導等 3 食環境整備事業	1 栄養成分表示等適正化事業 (1)食品表示の適正化に関する指導事業 ・立入検査等 0件 ・改善指導・助言 18件(うち栄養成分表示13件、誇大広告等5件) ・相談等 100件(うち栄養成分表示93件、誇大広告等7件) ・パンフレットの増刷 (2)普及啓発 14回 延560人 (3)栄養業務担当者会議の開催(1回) ・指導事例の共有 2 食環境整備事業 (1)栄養業務担当者会議等の開催(2回) ・特定給食施設における減塩やヘルシーメニューの提供や利用者への情報発信などの取組促進の検討 (2)普及啓発(再掲) 14回 延560人 ・健全な食生活の実践に向け、栄養成分表示の活用について普及啓発を行った。	458	1 栄養成分表示等適正化事業 ・食品表示法の保健事項及び健康保持増進効果等の表示に係る業務マニュアルにより、相談・指導や普及啓発を行う。 ・栄養業務担当者会議等の開催(指導事例の共有) 2 食環境整備事業 ・健康づくりのための食環境の整備に係る検討会の開催	776
31			○		食中毒予防啓発事業	食と暮らしの安全推進課	食中毒が発生しやすい夏場時期を食中毒予防月間として、啓発事業、監視指導、衛生講習会を実施し、食中毒の発生を未然に防止する。 1 広報活動の実施 (1)イベント会場・大型量販店等での食中毒予防キャンペーン (2)広報誌等への食中毒予防啓発記事の掲載 (3)腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令と各保健所前に垂れ幕の掲示 (4)ホームページへの食中毒予防法等の掲載 2 チラシによる広報 3 監視及び指導等の強化 4 営業者及び消費者に対する講習会	1 広報活動の実施 (1)各保健所(支所)において、食中毒予防チラシ配布等による啓発事業実施 (2)県・市町村広報誌等への食中毒予防啓発記事の掲載 (3)腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令(HP掲載、マスコミあて公表)と啓発(各保健所(支所)への垂れ幕掲示) (4)ホームページへの食中毒予防法等の掲載 2 食中毒予防チラシの作成と配布:3,200枚 3 食品衛生監視員による監視指導(集団給食施設、大量調理施設、旅館、飲食店営業、食品販売業、食品製造業、大型量販店等)995件 4 営業者及び消費者に対する食中毒予防等に関する講習会 45回 1,092人	497	1 広報活動の実施 (1)住民啓発事業の実施 (2)県・市町村広報誌等への食中毒予防啓発記事の掲載 (3)腸炎ビブリオ食中毒注意報の発令と啓発 (4)ホームページへの食中毒予防法等の掲載 2 食中毒予防チラシの作成と配布 3 集団給食施設、旅館等の監視指導 4 食中毒予防等に関する講習会の開催	609
32			○		みやぎ食の安全安心県民総参加運動	食と暮らしの安全推進課	1 食の安全安心消費者モニター制度事業 ①消費者モニターの登録 ②モニターだよりの発行 ③アンケート調査の実施 ④食品工場見学会・生産者との交流会の開催 ⑤研修会の開催 2 食の安全安心取組宣言事業 ①取組宣言者の登録 ②ロゴマークシールの提供 3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業 ①食の安全安心セミナーの開催 ②地方懇談会の開催	1 食の安全安心消費者モニター制度事業 ①消費者モニターの登録 ②モニターだよりの発行(3回) ③アンケート調査の実施(回答数596人) ④食品工場見学会・生産者との交流会の開催(3回) ⑤研修会の開催(1回) 2 食の安全安心取組宣言事業 ①取組宣言者の登録(102減) ②ロゴマークシールの提供(42,550枚) 3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業 ①食の安全安心セミナーの開催(2回) ②地方懇談会の開催(12回)	1,199	1 食の安全安心消費者モニター制度事業 ①消費者モニターの登録 ②モニターだよりの発行(3回) ③アンケート調査の実施 ④食品工場見学会・生産者との交流会の開催(3回) ⑤研修会の開催(1回) 2 食の安全安心取組宣言事業 ①取組宣言者の登録 (感染対策に取組む飲食店からの宣言制度を追加) ②ロゴマークシールの提供 3 食の安全安心相互交流理解度アップ事業 ①食の安全安心セミナーの開催(2回) ②地方懇談会の開催	2,241
33			○		食品営業施設取締指導事業	食と暮らしの安全推進課	流通食品の安全性を確保するため、食品等事業者に対する監視指導を実施する。	食品営業許可を要する食品営業施設への監視指導10,695件 食品営業許可を要しない食品営業施設への監視指導3,926件	6,389	食品等事業者に対する監視指導を計画	5,868
34			○		食品検査対策事業	食と暮らしの安全推進課	流通食品の安全性を確保するため、県内で生産、製造、加工された食品や輸入食品、広域流通食品について収去し、検査を実施する。	県内に流通する食品の収去検査実施 細菌検査1,150件 理化学検査941件 (一部の検体は複数の検査実施)		県内に流通する食品の収去検査を計画	

No.	第4期重点施策との関連				事業名	担当	事業概要	令和4年度実績		令和5年度実施計画	
	1 づ健康 くり	2 み食 や材 ぎ王 国	3 生 き る 力	4 支 み え ん あ う で				R4年度 決算額 (千円)	R5当初 予算額 (千円)		
35			○		食品表示適正化事業	食と暮らしの安全推進課	食品表示の適正化のための事業者に対する調査・指導及び監視を行う。 1 食品表示の相談対応、疑義情報に関する調査指導 2 食品表示ウォッチャーによるモニタリング調査 3 県産食品適正表示協会制度の推進 4 消費者、事業者等に対する食品表示の研修・普及	1 食品表示110番等で相談への対応件数 90件、疑義情報 52件(うち指導4件)。 2 99人を食品表示ウォッチャーとして委嘱し、6月から12月までの7か月間で1,307件を調査した。 3 宮城県産生かき適正表示協会会員の8業者に対し、生かき産地等偽装防止特別監視員が適切な表示及び産地管理について確認調査を行う。 4 「食の安全安心セミナー」や講習会等で食品表示について説明を行った(6回)。	602	1 食品表示110番等で相談に対応し、疑義情報について調査指導を行う。 2 100人を食品表示ウォッチャーとして委嘱し、6月から12月までの7か月間で1400件を調査する。 3 宮城県産生かき適正表示協会会員業者に対し、生かき産地等偽装防止特別監視員が適切な表示及び産地管理について確認調査を行う。 4 「食の安全安心セミナー」や講習会等で食品表示について説明を行う。	983
36			○		食料等の備蓄に関する普及啓発	防災推進課	災害時における食料や飲料水等の備蓄について、県ホームページや、県政だより、楽天ブログ(宮城県防災・危機管理ブログ)、その他広報媒体等を通じて普及啓発を図るもの。	県ホームページや県政だより、楽天ブログ、その他の広報媒体等を通じて普及啓発を行った。	【非予算】	県ホームページその他広報媒体等を通じて普及啓発を行う。	【非予算】
37			○		栄養士研修会	健康推進課	栄養士の資質向上のため、栄養士研修会の開催や学術研修会への派遣など栄養士の資質向上を図る。 1 行政栄養士研修会の開催 2 学術研修会への派遣	1 県及び市町村行政栄養士研修会 ・新任期行政栄養士研修会の開催(1回) ・R5.2.20 参加者数 26人 2 学術研修会への派遣 ・国立保健医療科学院主催 健康日本21推進研修 1名 ・日本栄養士会主催 公衆衛生実務者研修会 1名 ・日本栄養士会主催 公衆衛生新任者研修会 1名	122	1 県及び市町村行政栄養士研修会 ・県・市町村の行政栄養士研修会 ・保健所栄養士研修会 2 学術研修会への派遣(県管理栄養士)行政栄養士育成プログラムに基づき、階層別研修等に派遣する。 ・国立保健医療科学院主催 ・日本栄養士会主催(実務者、新任者) ・日本公衆衛生協会主催 など	224
38			○		学校栄養職員研修事業費(総合教育センター)	教職員課 保健体育安全課	1 学校栄養職員等研修 (1)栄養教諭新規採用者研修 (2)栄養教諭5年経験者研修 (3)中堅栄養教諭資質向上研修 2 食育指導者養成研修 3 健康教育・食育行政担当者連絡協議会	1 栄養教諭等研修 (1)栄養教諭新規採用者研修 ・研修日数 校外研修10日(うち3日オンライン) 校内研修10日 ・受講者6名(聴講1含む(専門研修のみ)) (2)栄養教諭5年経験者研修 ・研修日数 校外研修3日 校内研修2日 ・受講者6名 (3)中堅栄養教諭資質向上研修 ・研修日数 校外研修5日(うち1日オンライン) 校内研修6日 e-ラーニング1コンテンツ ・受講者6名 2 食育指導者養成研修 3名派遣 3 健康教育・食育行政担当者連絡協議会1名オンライン受講	23	1 栄養教諭等研修 2 食育指導者養成研修(保体課) 3 健康教育・食育行政担当者連絡(保体課)	129
39			○		学校給食管理指導事業	保健体育安全課	1 栄養教諭を文部科学省主催の「学校給食の衛生管理等に関する指導者講習会」に派遣する。 2 学校給食衛生管理等巡回訪問を実施する。	1 栄養教諭を文部科学省主催の「学校給食の衛生管理等に関する指導者講習会」に派遣。(3名派遣) 2 学校給食衛生管理等巡回訪問を実施。(8施設訪問)	73	1 栄養教諭を文部科学省主催の「学校給食の衛生管理等に関する指導者講習会」に派遣する。 2 学校給食衛生管理等巡回訪問を実施する。	76
事業数	17	24	9	6	合計(単位:千円)				148,486	171,855	